報道関係者各位

2026 年 11 月 17 日
トルコ共和国大使館 文化観光局

トルコ・アンタルヤで COP31 を開催
気候変動対策を推進する世界最大級の国際会議、12 のテーマ別デーを設定



トルコ北東部 リゼ県に位置する カチカル山脈

2026 年 11 月 9 日(月)から 20 日（金）まで、トルコを代表する観光都市アンタルヤで、第 31 回国連気候変動枠組条約締約国会議（UNFCCC COP31）が開催中です。本会議は、トルコが初めて議長国および開催国を務める歴史的な大会で、食料・農業からエネルギー、気候変動対策資金、人工知能（AI）に至るまで、気候変動対策に不可欠な 12 の重点分野において、約 100 の議題が取り上げられます。

COP は、気候変動に関する国際連合枠組条約（UNFCCC）のもと毎年開催される、気候変動対策に関する世界で最も重要な国際会議で、各国が共通の対策について協議し、気候危機の克服に向けた世界的な取り組みを推進する場となっています。トルコは、昨年ブラジルで開催された COP30 での歴史的な外交交渉の成果を受け、COP31 の開催国としての権限を獲得しました。

今回の開催は、トルコにとって戦略的に重要な節目となります。世界有数の MICE（企業会議・報奨旅行・国際会議・展示会）開催地としての国際的な評価を高めるとともに、再生可能エネルギーやサーキュラーエコノミー（循環型経済）への取り組みを背景に、世界の気候変動外交における重要な発言力を確立する機会となります。

「未来のための COP」と位置づけられる COP31 では、これまで掲げられてきた気候変動対策の目標を、具体的な行動へと移すことを目指します。トルコを含む約 200 カ国から、各国の首脳や政策立案者、企業関係者、研究者、市民社会の代表者がアンタルヤ・エキスポセンターに集結し、各国の取り組みや政策を検証するとともに、気候危機への解決策を協議します。会期中は、ハイレベル対話や専門的なセッションを通じて、実効性のある解決策の提示と新たな国際連携の構築を進めます。

COP31 議長国であるトルコが発表したスケジュールによると、会期中の各日には、それぞれ異なる気候変動関連のテーマが設定されています。「実行重視のサミット」という COP31 の方針に基づき、各テーマ別デーでは主要産業・分野における気候変動対策の加速を目指します。閣僚級対話、専門家によるパネルディスカッション、企業リーダーによるフォーラム、技術ワークショップ、パートナーシップ

の発表に加え、市民社会や若者の団体を対象としたセッションも実施され、多様な関係者による対話、知見の共有、協働による解決策の創出を促します。

COP31 の実行重視の取り組みを支える 12 の重点テーマ

COP31 のテーマ別デーでは、エネルギー転換や持続可能な金融から、レジリエントな都市（気候変動などの影響に対する回復力を備えた都市）、サーキュラーエコノミー、自然を活用した解決策、技術革新まで、幅広い議題を扱います。

全 12 の重点テーマに沿って構成されるプログラムは、11 月 9 日（月）の「食料・農業・健康」を皮切りにスタートし、続く 2 日目には「エネルギー・交通」をテーマに、エネルギー安全保障、電化、送電網インフラなどについて活発に議論が交わされました。

プログラムの主要イベントとなる「世界首脳気候行動サミット（World Leaders Climate Action Summit）」が、11 月 11 日（水）から 12 日（木）にかけて開催されました。各国の国家元首や政府首脳が一堂に会し、政治的な機運を高め、国際協力を強化するとともに、気候変動対策に関する各国の公約の実行を加速させることを目指しました。2 日間の首脳級フォーラムでは、初日に「ゼロ・ウェイスト」、2 日目に「レジリエントな都市と建築環境」をテーマに活発な議論が行われました。

その後、「金融・貿易」「子ども・若者・教育・スキル」「科学・産業・技術」「海洋・海・自然・土地利用」「人間・社会開発・ジェンダー」「イメジェ（Imece）」とテーマ別デーが続きます。「イメジェ」は、トルコに根付く相互扶助・共同作業の精神を指す言葉で、世界規模での気候変動対策の実行を推進することテーマとしています。会期最終日は、各国による最終交渉が行われます。

持続可能な観光におけるリーダーシップを通じて、気候変動外交を推進するトルコ

COP31 では、世界の気候変動外交における戦略的な役割とともに、トルコが進める先進的なプロジェクト、環境に配慮した政策、持続可能な観光分野における国際的な成果も紹介されます。

この一環として、「人間・社会開発・ジェンダー」をテーマとする日には、トルコ共和国文化観光省とトルコ観光広報・開発庁（TGA）が共同で、複数のハイレベルイベントを企画・運営します。

これらのセッションは、政府間の公式交渉が行われる「ブルーゾーン」と、一般公開エリアである「グリーンゾーン」の両方で開催され、トルコの持続可能な観光への取り組みや、気候変動に対する地域・社会の適応力を高めるうえで観光産業が果たす重要な役割について、多角的な議論が行われます。

最初のセッションは 11 月 18 日（水）、ブルーゾーンにて「観光分野における気候変動対策：低炭素、ゼロ・ウェイスト、気候変動に強いデスティネーション」をテーマに開催されます。

冒頭では、ナディル・アルプスラン文化観光副大臣と、国連世界観光機関（UN Tourism）のシジュン・リウ事務局長が基調講演を行います。その後のパネルディスカッションでは、トルコが推進する国家的な持続可能な観光モデルに加え、グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会（GSTC）との協力協定に基づく「トルコ環境・文化持続可能性プログラム」の国内での実施について紹介します。

一方、グリーンゾーンでは、世界各国の専門家が参加する 4 つのテーマ別パネルディスカッションを開催します。国家レベルでの変革、持続可能な観光への投資、文化遺産とガストロノミー（食文化）の持続可能性、そして持続可能な観光に向けた異業種間の連携について議論が行われる予定です。

トルコについて

トルコは、アジアとヨーロッパを結ぶ要所として、何世紀にもわたり文化交流と多様性の拠点となってきました。多様な文明が息づく歴史や遺跡、豊かな自然、美食など、幅広い魅力を備えたデスティネーションです。伝統とモダンが融合した芸術やファッション、活気あるショッピングやエンターテインメントも、世界各地から訪れる人々を魅了しています。2025 年には、約 6,400 万人の訪問者を迎えました。2023 年にトルコ共和国の建国 100 周年、2024 年に日本との外交関係樹立 100 周年を迎えています。

トルコの詳細は公式ウェブサイト（https://goturkiye.jp/）または以下の SNS をご覧ください。
Facebook: https://www.facebook.com/GoTurkiye.jp
X(Twitter): https://twitter.com/GoTurkiye_jp
Instagram: https://www.instagram.com/goturkiye_jp/
YouTube: https://www.youtube.com/c/tourismturkeyjp

トルコ観光広報・開発庁（TGA）について

トルコ観光広報・開発庁（TGA）は、国内外の観光市場においてのトルコのブランディングを確立させ、観光やビジネスにとって魅力的な渡航地としての認知を高めるため、文化観光省が定めた観光戦略や政策に基づき、あらゆるプロモーション、マーケティング、コミュニケーション活動を行っています。世界各地の現在の観光機会を促進・販売するとともに、観光の潜在的分野を発見・改善・確立していきます。

＜本リリースに関するお問い合わせ＞
トルコ共和国大使館 文化観光局 広報代理店
キャンドルウィック株式会社 （杉田、大村）
Email: t-turkiye@candlewick.co.jp
Tel: 03-6261-6050　Fax: 03-6261-6051